

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-20-1

事業名 湊公園津波避難路整備事業

事業費 総額 92,512 千円

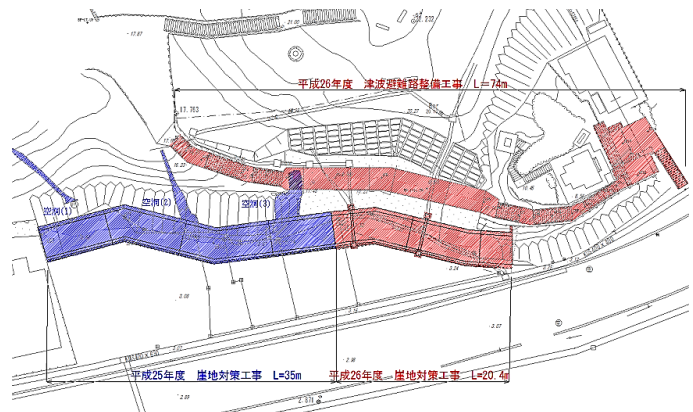
(内訳: 設計費 9,849 千円, 工事費 82,663 千円)

事業期間 平成 24 年度～平成 27 年度

事業目的

当該施設は、海門町地区において災害発生時に高台である湊公園へ最も早く避難できる通路であることから、東日本大震災により被害を受けた施設の復旧を行うとともに、災害発生時に安全に避難できるよう避難路の再整備を行うものである。

事業地区 海門町地区



事業結果

- 1 崖地対策工事 整備延長 L = 55.4m
- ・もたれ式擁壁工 (H=8.5~9.0m) 55.4m
 - ・落石防護柵 32m
 - ・側溝敷設 56m
 - ・空洞充填工 37m³

【整備前】



【整備後】



2 避難路整備工事 整備延長L=74.0m, 幅員W=1.5~1.6m

- ・階段工(擬木製) 74m
- ・ソーラー照明灯 4基
- ・側溝敷設 18m

【整備前】



【整備後】



事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

施設整備によって高台である湊公園への迅速かつ安全な避難が可能となり、市と地元自治会が行う総合防災訓練において避難路として活用されているほか、平時でも、湊公園へのアクセス路として地元住民に利用されている。

② コストに関する調査・分析・評価

設計はコンサルタントに委託し、種々の対策工法を比較検討して最も経済的な工法(崖地対策:もたれ式擁壁, 避難路整備:栈道形式)を選定した。また、選定した工法は地元からも賛同を得た。このことから、地域の実情にも即した最善の工法が選択できたものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定	実績
設計	平成24年度~平成25年度	平成24年度~平成25年度
工事	平成25年度~平成26年度	平成25年度~平成27年度

設計段階と工事段階で現地の状況に相違が生じたため、工期を延長して対応した結果、当初想定よりも事業期間が長くなった。また、設計段階において地元自治会と協議し、対策工法の説明や意見聴取等を行ったこともあり、大きなトラブル等が起きることなく工事を完了することができた。

事業担当部局

ひたちなか市都市整備部公園緑地課 施設管理係 電話番号: 029-273-0111(内線1381, 1382)